草津市協働のまちづくり推進計画 令和5年度取組実績および令和6年度予定 【市】

※担当課表記 まち…まちづくり協働課、未来…草津未来研究所、健福…健康福祉政策課、長寿…長寿いきがい課,職員…職員課

目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

	推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当課	令和5年度		事業評価	項目評価	令和6年度	
	推進項目					決算額	取組実績	(1~5)	(A~E)	予算額	取組予定
	市民が活動しやすい環境整備	1	市民総合交流センターの設置・運用	市民の幅広い交流や創造的で多様な活動を展開できるよう市民総合交流センターを設置し、協働のまちづくりの拠点とする。		75, 855 千円	年12回入居者会議を開催し、互いのイベントのスケジュール等の情報共有を行うことで、入居者同士の連携を図った。 入居者の協働によりキラリエクリスマス、キラリエナツマツリ、キラリエクリスマスといったイベントを開催し、施設利用者の増加を図った。 ・入居者会議の開催 年12回 ・キラリエマツリ ・キラリエナツマツリ ・キラリエナツマツリ ・キラリエクリスマス	3		83,557 千円	指定管理業務の拡大により、ソフト業務について指定管理者が運営することとなるが、引き続き所管課として入居者会議やイベントにおいて、入居者同士の連携に努める。 ・入居者会議への参画 ・協働ひろば公式SNSの運営
А		2	アーバンデザインセンターびわこ・くさ つ運営	アーバンデザインセンターびわこ・くさ つを運営し、産学公民が連携し、草津の 未来のまちづくりについて、気軽に立ち 寄り話し合う場を作る。	未来	19,303 千円	産学公民が連携し、草津の未来のまちづくりについて話し合う場となるアーバンデザインセンターびわこ・くさつの運営を行った。 ・都市デザインマネジメントスクールの開催 ・アーバンデザインセミナーの開催(計4回) ・社会実験準備事業の実施	3	В	20,707 千円	南草津駅周辺の課題やまちの将来像など具体的な検討を行う産学公民の多様な主体によるプラットフォームの形成を目指す。 ・都市デザインマネジメントスクールの開催 ・アーバンデザインセミナーの開催 ・社会実験準備事業の実施
		3	地域まちづくりセンターの指定管理	まちづくり協議会による地域まちづくり センターの指定管理を行い、多様化する 市民ニーズに対応した地域主体のまちづ くりを支援する。		266,911 千円	各まちづくり協議会を指定管理者として14学区における地域まちづくりセンターの運営を行った。センターを活用した居場所づくりの運営等、各センターで地域のニーズに応じた取組を行うことができた。 ・各まちづくり協議会による地域まちづくりセンターの運営 14カ所	3		294, 503 千円	各まちづくり協議会による地域まちづくりセンターの運営 14カ所
	まちづくり情報の提供	1	市ホームページ等を活用した情報提供	まちづくりに役立つ情報や統計、アンケート結果等の情報提供を行うことで、まちづくりに参画する市民を増やす。	まち	0 千円	各種事業をホームページや広報くさつに掲載した。また、中間支援組織が実施する事業についてもキラリエサポーターへのメール配信により情報発信を行った。	3		0 千円	引き続き各種事業をホームページや広報くさつで発信するとともに、 協働ひろば公式SNSを活用した情報発信を行う。
		2	市民活動レポート事業	市民公益活動団体の活動情報を発信する ことで、市民への周知を図る。	まち	0 千円	市民総合交流センター登録団体(キラリエサポーター)122団体の情報発信をホームページで行った。	3		0 千円	引き続き市民総合交流センター登録団体(キラリエサポーター)についての情報発信を行う。
В		3	市民活動団体情報紙の発行	市民活動の情報をまとめ広く周知し、市民活動に対する市民の関心を高める。	まち	404 千円	市民活動団体の活動情報を集約した情報紙「いいことないかな?でんごんばん」を市民活動団体との協働で年6回発行した。	3	В	0 千円	「いいことないかな?でんごんばん」の発行は令和5年度をもって終了したため、広報くさつないにて掲載スペースが拡張された「みんなの掲示板」の活用を促すとともに、キラリエ草津5階の協働ひろばでの団体チラシの配架に関する周知や、公式LINEでの情報発信を行う。
		4	まちづくり資料集の発行(町内会向け)	町内会向けに各種支援情報を掲載した資料集を発行し、市民自らが行うまちづく り活動を応援する。	まち	155 千円	補助制度等をまとめた「まちづくり資料集」を発行。町内会長全体説明会の資料として町内会長に説明のうえ配布した。	3		220 千円	補助制度等をまとめた「まちづくり資料集」を作成し、町内会長全体説明会で説明のうえ、全町内会長に配布する。
		⑤	市民活動資料集の発行(NPO向け)	NPO向けに各種支援情報を掲載した資料 集を発行し、市民自らが行うまちづくり 活動を応援する。	まち	0 千円	助成制度や備品の貸出制度等、市民活動に役立つ情報をまとめた市民活動資料集を発行し、市内のNPO団体およびキラリエサポーターに配布した。	3		0 千円	助成制度や備品の貸出制度等、市民活動に役立つ情報をまとめた市民 活動資料集を発行し、各種団体に配布する。

目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

草津市協働のまちづくり推進計画 令和5年度取組実績および令和6年度予定 【市】

※担当課表記 まち…まちづくり協働課、未来…草津未来研究所、健福…健康福祉政策課、長寿…長寿いきがい課,職員…職員課

	推進項目	No. 事業名	事業の目的	担当課		令和5年度	事業評価	項目評価		令和6年度
	11年代日	1144. 事未有	争未の日内	12.13x	決算額	取組実績	(1~5)	(A~E)	予算額	取組予定
	まちづくり活動支援・資金助成	② 基礎的コミュニティへの支援事業	まちづくり協議会、基礎的コミュニ ティ、市民公益活動団体に財政的な支援 を行い、安定した活動につなげる。	まち	116,087 千円	○まちづくり協議会への支援 ・地域まちづくり一括交付金 1 4学区 ・地域課題解決応援交付金 1 3学区 ○基礎的コミュニティへの支援 ・コミュニティへの支援 ・掲示板設置事業補助金 4町内会 ・掲示板設置事業補助金 5町内会 ・コミュニティ活動初期備品整備事業補助金 0町内会 ・自治会活動保険加入補助金 1 9 5町内会 ○市民公益活動団体への支援 コミュニティ事業団を通じた助成事業で経済的な支援を行った。	3		122,645 千円	〇まちづくり協議会への支援 ・地域まちづくり一括交付金 ・地域課題解決応援交付金 ・地域課題解決応援交付金 〇基礎的コミュニティへの支援 ・コミュニティハウス整備事業費補助金 ・掲示板設置事業補助金 ・コミュニティ活動初期備品整備事業補助金 ・自治会活動保険加入補助金 〇市民公益活動団体への支援 コミュニティ事業団を通じた助成事業で経済的な支援を行う。
		市民活動保険助成制度	市民公益活動団体が安定して活動できる よう活動保険の助成を行う。	まち	0 千円	令和3年度から運用中止	-		- 千円	-
			中間支援組織に支援を行い、安定した運 営が図れるようにする。	まち福寿		〇市の指定した中間支援組織であるコミュニティ事業団に対し、運営費等補助を実施 ・草津市コミュニティ事業団への人件費補助(76,531千円) ・草津市コミュニティ事業団への事業費補助(4,720千円) 〇市の指定した中間支援組織である社会福祉協議会に対し、運営費等補助を実施 ・草津市社会福祉協議会への人件費補助(未確定) ・草津市社会福祉協議会への事業費補助(未確定)	-	В	未確定	○市の指定した中間支援組織であるコミュニティ事業団に対し、運営費等補助を実施・草津市コミュニティ事業団への人件費補助(82,264千円)・草津市コミュニティ事業団への事業費補助(4,785千円) ○市の指定した中間支援組織である社会福祉協議会に対し、運営費等補助を実施・草津市社会福祉協議会への人件費補助(未確定)・草津市社会福祉協議会への事業費補助(未確定)
С						・早津巾社云福祉協議云への事業員補助(木碓足) 〇地域サロンの運営および人件費にかかる補助(10,069千円)				・早洋印社云価組励融云への事業員補助(木雄足) 〇地域サロンの運営および人件費にかかる補助(11,568千円)
			市とまちづくり協議会との連携や情報共 有が図れるような仕組みを作る。	まち 各課	13,517 千円	まちづくり協働課に地域支援員を配置し、市とまちづくり協議会との連携支援を行った。また、地域まちづくりセンターの運営に関する相談を通じてまちづくり協働課職員やコミュニティ事業団がまちづくり協議会と関わり、顔の見える関係づくりを行った。 ・各まちづくりセンターの会計・税務・労務支援を中間支援組織に委託	3		13,518 千円	・協働推進員や地域支援員による行政との連携支援 ・会計・税務・労務の支援を中間支援組織に委託
		事業	技術的な支援を行い、安定した運営が図 れるようにする。	まち	0 千円	地域の要請に応じ、町内会の設立支援を行った。また、転入者に向けて町内 会加入促進チラシによる啓発を行った。	3		0 千円	・地域の要請に応じた設立支援 ・町内会加入促進チラシによる未加入者への啓発
		⑧ 人材育成の充実	中間支援組織との協働により各種講座を 開催し、まちづくりに関する担い手や リーダー等の人材を育成する。	まち	0 千円	中間支援組織が実施する市民向け講座への参加をキラリエサポーターへ案内 する等の連携を行うとともに、地域まちづくり協議会や大学生等多様な主体 が研修の場で繋がることができるよう工夫した。	3		0 千円	中間支援組織が実施する講座に多様な主体が参画できるよう連携して周知を図る。
	まちづくり活動支援・資金助成	タ クラウドファンディング活用サポート事業	市民公益活動団体等の資金調達をサポー トする。	まち	0 千円	クラウドファンディング相談対応を行った。内容を精査した結果、市のサポート事業の対象とはならなかったが、クラウドファンディングの活用方法や、業者ごとの特徴等を説明した。	3	0 千円	クラウドファンディングの相談対応を行う。	
			各まちづくり協議会と市が協働して健康 づくりに取り組む仕組みを作る。	各課	- 千円	地域の特性や健康課題について各まちづくり協議会と共有を図り、啓発媒体の作成や健康フェスタや健康講座等の取組をサポートする等、まちづくり協議会をはじめ、企業や商業施設等の関係機関と協働したアプローチを行った。	3	В	- 千円	地域が主体的に健康づくりや介護予防に取り組むことができるよう、 まちづくり協議会をはじめ、企業や商業施設等の関係機関と協働した アプローチを行う。
D	協働事業の推進	協働事業の実施	協働で取り組むことができる可能性のある施策や事業について検証し協働による 事業実施を推進する。また、ラウンド テーブル等を実施し地域課題解決のため の協働事業の展開を図る。	各課		各課において協働事業を実施した。また、地域課題解決のための協働事業のきっかけとなるよう、市民総合交流センターでラウンドテーブルを実施した。 ・協働契約書を活用した協働事業 7件・ラウンドテーブルの実施 7回・マッチングテーブルの実施 2回・市民活動交流会の実施 1回	4	В	265 千円	協働事業が増えるよう、各課からの相談対応を行う。また、ラウンドテーブルに多様な主体の参画を促し、新たな繋がりから協働事業が生まれるよな仕掛けづくりを行う。 ・協働事業の実施 ・ラウンドテーブルの実施 ・市民活動交流会の実施 1回
		② 地域協働合校の推進	市内小中学校およびまちづくり協議会に おいて地域協働合校を実施し、子どもと 大人の協働による学びの場を作る。	生涯	8,034 千円	子どもと大人の協働による地域協働合校事業を実施した。 ・地域コーディネーター会議 3回 ・事業実施数(小中) 428事業 ・大人と子どもの参加人数 251,244人	3		11,905 千円	より質の高い事業実施に向け、関係者への研修会や情報交換会等の充 実や助言等を行う。
E	中間支援組織の活用	③ 技術的支援における連携	中間支援組織の活用を図り、協働事業の 促進、市民公益活動およびまちづくり協 議会活動の健全な運営を行う。	まち 健福	0 千円	中間支援組織と連携し、それぞれの関係団体同士のネットワークの構築を図 るとともに、各種事業の実施により、市民公益活動や福祉活動を推進するこ とができた。	3	В	0 千円	市と中間支援組織で目指す方向を共有し、連携しながら各種事業についてより一層の取組を進める。
F	人材育成事業の展開	① 協働意識の醸成と組織体制の充実	研修を開催し、協働を理解し推進できる ような職員を育成する。また、多様な主 体と連携した協働推進体制の充実を図 る。	まち職員	10 T III	新規採用職員向け研修について、市民活動の実践者5名を講師に招きワークショップ形式の研修とした。 主任・主査旧職員向け研修では、栗東市政策調整課長を招き、こう議形式の研修とした。 ・新規採用職員向け協働研修 1回 ・主任・主査級職員向け協働研修 1回	3	В	30 千円	・新規採用職員向け協働研修 1回 ・主任・主査級職員向け協働研修 1回

【各施策評価】

- 5…計画以上の取組みを実施し、目標を大きく超える成果があった。
- 4…計画どおりの取組みにより、目標以上の成果があった。
- 3…計画どおりの取組みにより、成果があった。
- 2…取組みを行ったものの、思うほどの成果は得られなかった。

【推進項目ごと評価】

- ・施策評価の平均点数が 4.0以上5.0
- \rightarrow A ・施策評価の平均点数が 3.0以上4.0未満 → B
- ・施策評価の平均点数が 2.0以上3.0未満 → C
- ・施策評価の平均点数が 1.0以上2.0未満 → D
- ※小数点第2位は四捨五入